

鷺宮高校 社会科フィールドワーク通信 Vol.4(2023. 秋)

社会科同好会準備編①

2023年11月17日(金)放課後、「社会科同好会(仮・申請中)」のメンバーのうち、1学年生徒5名で、山崎記念中野区立歴史民俗資料館に行ってきました。この資料館は鷺宮高校の最寄り駅である都立家政駅から西武線(各停)で二駅の沼袋駅北口から徒歩8分の場所にあります。令和2年にリニューアルされたのですが、現在の高校生世代は、コロナ禍の影響もあってか、小中学校の校外学習などで来たことがないようで、新鮮そうでした。

今回の目的は、企画展「発生から100年 記録された関東大震災(10月3日～12月3日)」の見学でした。今年は、関東大震災の発生した1923(大正12)年から100年の節目の年にあたるため、ぜひ資料を見ながら震災・復興について知ってもらいたいと思い、2つの資料館・博物館訪問を企画したうちの「第一弾」です。

以下、参加した生徒の感想の一部を紹介します。

◆関東大震災は100年前の話で東日本大震災や阪神・淡路大震災に比べ、あまり詳しく知らなかったからこそ今回資料館に行けて良かったです。どの体験者の話も火事について書かれていて、地震が起きて火事が起きるということは阪神・淡路大震災にも通じる恐ろしさがあったのだなと感じました。印象に残っているのは安政の大地震と関東大震災、どちらも経験した人がいるということです。一生のうちに大地震を2度も経験する気持ちはどんなものだったのか考えると怖いです。

◆今日は関東大震災についてあまり教科書で知ることのできない様々な事柄を学ぶことができとても有意義な時間になりました。特に、昔の中野区には田畑が多くあったことなどは今の風景からは考えられずとても驚きました。

◆先生が説明してくれて、展示の内容をより詳しく理解できました。朝鮮人の復讐を恐れていたからこそ、空回りした警戒をしてしまった歴史は興味深かったです。博物館の楽しみ方はまだよく分かりませんが、今回見学しに行った経験は、これから先博物館に行くことがあるときに役立つと思いました。

◆当時の資料や絵をみて関東大震災を肌で感じることができました。自然災害は戦争とは違ってどうしようもないことだけどそれで【※】大久保の人が被害にあったと思うと胸が苦しくなります。震災に乗じて朝鮮半島の人に危害を加えるのは絶対に間違っているとは思いますが、当時の人のことを考えると誰かを悪者にしなくちゃやってられないくらいボロボロだったと思うと当時の自分もそうしていたかもしれないと思ったので完全に否定する権利は自分にはないと思いました。(1年) 【※】すみません。自警団を描いた子どもの絵に対する引率者(黒田)の説明が言葉足らずで「朝鮮半島から来た人=現在、コリアンタウンのある新大久保に住んでいる人」というイメージになったかと思います。次回の「高麗博物館」(新大久保)訪問で、朝鮮半島を植民地化していた時代の日本について理解を深めましょう。

